

## 脳血管内治療部

### 1. スタッフ (2024年4月1日現在)

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 部長（教授）（兼） | 吉野 義一<br>(脳神経外科) |
| 医員（助教）（兼） | 山田 健嗣<br>(脳神経外科) |
|           | 伊古田雅史<br>(脳神経外科) |

シニアレジデント 1名

### 2. 診療科の特徴

脳血管内治療部の特徴は、脳卒中などの一般的な脳血管内治療のみならず、動脈奇形や硬膜動脈瘤、脊髄の血管障害や頭頸部の血管腫などに対して、技術と経験を備えた専門医による、ハイブリッド手術室を活用した高度な脳血管内治療を受けることができます。また標準的な手術では治療が難しい大型や巨大脳動脈瘤に対して、フローダイバータ治療やW-EB (Woven Endo Bridge) などの最新の治療を多数行っており、良好な治療成績を得ています。さらに開頭術や放射線治療をシームレスに組み合わせて、脳神経外科や脳神経内科、放射線科など、当センターの専門診療部と緊密に連携して、専門的かつ集学的な治療を行っています。

#### ●認定施設

日本脳神経血管内治療学会認定研修施設  
日本脳神経外科学会専門医認定施設A項（脳神経外科）  
日本脳卒中学会認定研修教育施設  
日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター（地域コア施設）  
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設  
(基幹施設：自治医科大学脳神経外科、関連施設：東京科学大学脳神経外科)

#### ●認定医

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
吉野 義一他3名  
日本脳卒中学会専門医・指導医  
吉野 義一他3名  
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医  
吉野 義一他3名  
日本脳神経内視鏡学会技術認定医  
吉野 義一

### 3. 診療実績・クリニカルインディケーター

#### 1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

脳神経外科レポート参照

#### 2) 入院患者数（病名別）

脳血管内治療部入院数：276名

#### 3-1) 手術症例病名別件数

| 病名             | 人數  |
|----------------|-----|
| 動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤）  | 17  |
| 動脈瘤塞栓術（未破裂動脈瘤） | 34  |
| 動脈奇形（脳）        | 21  |
| 閉塞性血管障害の総数     | 80  |
| うちステント使用例      | 50  |
| 頭頸部および脊髄腫瘍     | 9   |
| 脳血管造影カテーテル法    | 168 |

合計 329例

### 4. カンファレンス

- ・脳卒中合同カンファレンス（脳血管内治療部、脳神経外科、神経内科、救急救命センター、集中治療部）：火曜日15時
- ・脳神経外科病棟カンファレンス：火曜日、金曜日の午前8時
- ・脳神経外科手術カンファレンス：月曜日の午後18時
- ・病棟回診  
火曜日午前8:00 金曜日午前8:30

### 5. 研究・学会活動

さいたま市脳神経血管内治療研究会（年1回）  
東京脳卒中血管内治療セミナー（年1回）  
脳血管内治療ウインターセミナー（年1回）  
埼玉血管内治療俱楽部（年1回）  
日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会（年2回）  
埼玉県脳卒中ネットワーク運営会議（年3回）  
北部首都圏NS研究会（年1回）  
埼玉脳神経外科懇話会（年2回）

### 6. 部門・部署ごとの事業計画、目標に対する2024年の達成度、2025年の目標等

2017年6月より中央診療部に脳血管内治療部が新規開設された。2019年4月に脳神経の血管内治療に対応可能なハイブリッド血管造影装置が導入された。関連する診療科と横断的な脳卒中診療体制を構築し、埼玉県急性期脳卒中ネットワーク（SSN）に対応している。2018年より日本脳神経血管内治療学会教育研修施設、2019年より日本脳卒中学会教育研修施設、2021年より日本脳卒中学会一次脳卒中センターおよび同地域コア施設の認定を受けている。現在さいたま市における脳神経の血管内治療について中核的な診療を行っている。今後も専門的な診療、研究、教育活動を行い、地域医療に貢献する専門医を育成していく。